

研究機関：広島大学

研究課題名 COVID-19 ワクチン接種後のてんかん発作の変化量の調査

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文

研究期間 2022年2月20日(倫理委員会承認後)～ 2028年3月31日

対象者

2021年12月から2026年3月の間に、広島大学病院脳神経内科でてんかんに対する検査および治療を受けられた患者さん。

意義・目的

てんかん患者さんおよびてんかん疑いの患者さんのCOVID-19 ワクチン接種の有無を確認し、前後での発作の変化量を調査することで、本邦でのワクチン摂取による誘発発作のリスク、または

発熱などのワクチンの副反応による発作閾値の変化で発生した発作の頻度を明らかにすることが目的です。

方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は性別、年齢、既往歴、内服薬、発作症状、発作頻度、診断名、COVID-19 ワクチン接種の有無、ワクチンの種類、ワクチン接種を行った時期とその後の観察期間、ワクチン接種後の発熱の有無と最高体温、ワクチン接種後のその他の副反応、ワクチン接種後のてんかん発作の変化、COVID-19感染症の既往です（個人を特定可能な情報は解析に用いません）。

共同研究機関

本学単独の研究です。

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文

個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。